ぼぶニュース108号
◎編集発行／東海大学教学部湘南学生支援課（CLIC）　神奈川県平塚市北金目4-1-1　TEL.0463-58-1211　発行日：2014年5月23日

TOKAI People
*とうかい*ピープル*

工学部 航空宇宙学科
航空宇宙学専攻 3年次
# 三宅 真亜子 さん
>>> Maako MIYAKE

新しいことに挑戦することを教えてくれた人力飛行機は私の青春です！

4年ぶりの出場となる「鳥人間コンテスト」に出場します。「新しいことに挑戦しよう」というコンセプトで、人力飛行機の中では珍しい機体を作りました。チーム一丸となって、優勝を目指します。

「鳥コン」に出場するには、書類審査という大きな関門がありました。どうしたら突破できるのか、とことん考え抜きました。どの大学チームも熱い気持ちがあるのは同じです。差別化をはかるために、自分たちの原点から振り返りました。私たちは、なぜ人力飛行機を製作しているのだろうかという根本についてです。そして〝ものつくり〟の楽しさが私たちを動かしていることに気づきました。具体的に言うと、私たちは今年度、斬新な機体に挑戦したのは新しいこと誰もやったことがないことに挑戦し、達成したときの楽しさです。この挑戦を多くの人に見てもらい新たな機体を創ることを促したい、私たちの強い思いを率直に書きました。その熱い思いをいつも近くで見守ってくださる、チャレンジセンターのコーディネーターやアドバイザーの先生や卒業生の方々からの協力もあって、出場権を手にすることができたのだと思います。

あとは7月の本番まで、試験飛行を繰り返すだけです。飛行機はとても精密ですので、少しでも狂うと空気の流れが大きく変わってしまいます。設計した通り、実際に飛ぶのかどうかの試験飛行を毎週土日、静岡県にある滑空場で行っています。大学生の使える時間は深夜1時から朝8時まで。昼夜逆転して、月曜の朝は大変ですが、栄養ドリンク片手に授業を乗り切ることもありますね。

なかなかハードな毎日ですが、鳥コンは高校生でいう甲子園のようなものですから、私にとっては青春です。「新しいことに挑戦して、新しい鳥コンの時代を作りたい」という夢をかなえるのなら頑張れます。

今回の大会をきっかけに、人力飛行機チームに興味をもつ人が増えたら嬉しいです。出場する人力プロペラ機タイムトライアル部門は、7月26日［土］です。ぜひ応援をお願いします。

東海大学 チャレンジセンター
ライトパワープロジェクト 人力飛行機チーム
HP……▶http://tumpa.shn.u-tokai.ac.jp/index2.html
ブログ……▶http://tumpa09.blogspot.jp/
Facebook▶https://www.facebook.com/tumpa.birdman

>>>>